

# 第84回日本医史学会総会演題目次

## 特別講演

医学史に現われた寸白蟲……………大島智夫……………(1)

中国の歴史における医……………山本徳子……………(5)

## 会長講演

歴史的にみた神奈川の医療……………大滝紀雄……………(8)

## 一般口演

- 1、医学のシンボル「蛇杖」の歴史……………古川明……………(11)
- 2、医学史の歴史……………中川米造……………(13)
- 3、医学教育における医史学資料の評価……………寺畑喜朔……………(14)
- 4、外科の守護聖人サン・コームについて……………大村敏郎……………(16)
- 5、堺県医学校補遺……………宗田一……………(19)
- 6、『医務取調書上』と『医者履歷明細書』―明治初年の医師現状調査について―……………深瀬泰旦……………(21)
- 7、わが国最初の医学雑誌……………谷津三雄・鈴木勝……………(24)
- 8、大槻玄沢と西賓会話……………山形敏一……………(25)
- 9、文学に現われたバラケルスス像……………大橋博司……………(27)
- 10、ヘルマン・ブールハーフェの座右の銘「単純は真理のしるしなり」の語源について……………守屋正……………(29)
- 11、イギリスにおける病院の近代化……………小沢吉見……………(30)
- 12、モーゼス・マイモニデスの『喘息論』について……………石渡隆司……………(31)
- 13、安政年間相模国における長州藩の医療……………田中助一……………(33)
- 14、いわゆる「ターヘル・アナトミア」と解体新書の比較(その四)……………酒井恒……………(35)
- 15、モンテベルデ作エドワード・ジェンナーの青銅像……………加藤四郎……………(38)

16、	ウトレヒト陸軍軍医学校テキスト、フレスの解剖書とその日本への伝播……石田純郎、ハルム・ボイケルス……	(39)
17、	A・F・ボードイン帰国時の賞典授与の経緯について……	松田 武……(42)
18、	青木大輔編「西洋医家名和訳覚帳」その他について……	玉手 英典……(43)
19、	明治二十年以前の翻訳西洋医学書の出版動向……	水間棟彦・酒井シヅ……(45)
20、	山本亡羊の門人簿について……	遠藤 正治……(47)
21、	石川玄常について……	津田進三……(49)
22、	中津藩と村上玄水……	川 嶋 眞 人……(52)
23、	アルメイダ没後四百年の足跡を訪ねて……	東 野 利 夫……(54)
24、	藤野厳九郎の蘭学の系譜……	泉 彪之助……(55)
25、	目黒道琢の事蹟について……	中 島 康 伸……(58)
26、	村医と著述——河内国坂村三浦蘭阪の場合——	末 中 哲 夫……(60)
27、	医師木戸麟の近代社会への貢献……	丸 山 知 良……(61)
28、	『大素』と『素問』『靈枢』の比較的考察……	丸 山 敏 秋……(63)
29、	宮内庁書陵部所蔵五卷本『和剂局方』について……	小 曾 戸 洋……(66)
30、	『医心方』の伝写について(Ⅲ)……	杉 立 義 一……(68)
31、	『万安方』の小兒門について……	安 達 原 嘩 子……(70)
32、	「麻疹」名義考……	三 井 駿 一……(72)
33、	安芸家(北小路家)「御産所日記」について……	北 小 路 博 央……(75)
34、	日葡辞書から見た安土桃山時代の医学…Ⅱ身体部位語……	亀 節 子・大 槻 彰・前川久太郎……(77)
35、	『東谷御林人参一巻』と松平君山……	安 江 政 一……(80)
36、	我が川島家の医史……	川 島 恂 二……(82)
37、	江戸時代の家庭看護……	山 根 信 子……(84)
38、	明治時代の公立医学校廃止の顛末(その二)……	西 川 瀆 八……(86)
39、	一般人を対象とした現役軍医の病院……	佐 久 間 温 巳……(88)

- 40、岡谷蚕糸博物館所蔵資料にみる製糸工女の医療費負担について  
 第六報 福利厚生施設調査……………清水勝嘉(90)
- 41、本邦における医学放射線技術教育の史的推移……………今市正義(93)
- 42、南洋庁の医事衛生事情……………関根正雄(94)
- 43、産業報国会関係資料……………森博(96)
- 44、中国古代医学に於ける五行説について……………家本誠一(98)
- 45、中国古代原始本草体系の推察……………森村謙一(101)
- 46、中国医学と道教 Ⅲ、薬籤について……………吉元昭治(102)
- 47、華佗と麻酔……………松木明知(104)
- 48、日本に於ける朱丹溪学説の受容について……………安井広迪(106)
- 49、中国伝統医学修得学生の漢語素養について(その2)……………小杉順一(108)
- 50、E・ベルツの憑依論について……………安井広(111)
- 51、狐憑症研究小史—E・ベルツ、島村俊一、呉秀三—……………岡田靖雄(113)
- 52、日本における包帯の歴史に関する研究(一)「繃帯彙編」の原典……………蒲原宏(115)
- 53、昭和前期の労働衛生史……………乾修然(118)
- 54、日本の高温労働環境の歴史……………三浦豊彦(120)
- 55、日本における対癌運動史序説—北海道対癌協会について—……………長門谷洋治(123)
- 56、(紙上発表)「麻酔」の語史学的研究……………松木明知(125)
- 57、(紙上発表)日本の脊髄麻酔の歴史—とくにヤコビー線に関連して—……………松木明知(127)
- 58、(紙上発表)横浜山手病院……………桑原千代子(128)